トムソン・ロイターのファイナンシャル＆リスク部門はRefinitiv（リフィニティブ）に生まれ変わりました。当社は将来に向けて大きな一歩を踏み出し、新しいブランドとして世界に羽ばたいていきます。

新ブランドへの移行は段階的なため、ドキュメント類や動画、およびデジタル・プラットフォームにおいてトムソン・ロイターの名称が残っている場合があります。

ブランド変更につきまして、ご理解のほど宜しくお願いします。
マーケットあるところに感情あり
感情あるところに感情周期あり
周期の見極めが収益の決め手に

*Thomson Reuters MarketPsych Indices – 市場心理を読み解き、マーケットの行方を見極める*
内在する市場心理を見極める
内在する市場心理は、はたして見極められるのか？
行動経済学の研究により、投資家の見方が市場に与える影響を予測できるようになっています。市場心理の状態をリアルタイムに見極められたとしたら、後からパターンを読むのではなく、実際にその場で現れるパターンをつかむことができるのです。Thomson Reuters MarketPsych Indicesはニューズや他のメディアをリアルタイムに分析しています。ニューズを分析して内在する意味合いを抽出し、即座に価格方向性を拿挙することが可能になるでしょう。

Thomson Reuters MarketPsych Indices による市場心理スコアリング
アセットと市場心理のカバレッジ
- 12,000 社以上の企業
- 36 の商品とエネルギー項目
- 187 カ国
- 62 のソブリン市場
- 45 通貨
- 150 以上の仮想通貨
テキスト・カバレッジとアーカイブ
- 2,000 のニュース・ソース
- 800 のブログ、株式メッセージボード、ソーシャル・メディア・サイト
- 1998 年にアーカイブ開始（仮想通貨については2009年より）

不動の監視体制、明確なシグナル 情報が市場を動かす
Thomson Reuters MarketPsych Indicesは、ニューズとソーシャルメディアをリアルタイムに分析します。幅広い膨大な量の専門ニュースとソーシャルメディアからの記事を心理指標として定量化し、既知の情報に加え、内在する情報を見出すことで、一歩踏み込んだ投資判断支援をします。
この指標は、リアルタイム・データ系列として配信されるため、定量的かつ定性的か問わず、分析や意思決定のプロセスに簡単に取り込むことができます。

提供されるのは、以下の3つのタイプの指標です。
- 不安、喜び、信頼などの感情指標
- 収益期待、金利予測、ロング/ショートなど、ファンダメンタルズの見方
- 訴訟や合併、中央銀行など市場を動かすテーマがどのくらい話題になっているかを示すロコミ指標
こうした指標は、市場の指数、企業、債券、国、商品、通貨、仮想通貨にごとに、1分単位で更新されます。指標は、分析担当者がトレーダーが監視できるように、ダッシュボードや統計ツールに直接表示することも可能です。また、お客様のアルゴリズムに直接連動させ、投資や資産配分の迅速な判断に役立てることもできます。

情報には、投資家の取引行動を変える力があります。例えば、ソーシャルメディア上に不安が広がっていると投資家が警戒感を持っていることを示し、その結果、市場の急落を招きやすくなりします。ファンダメンタルズに関して明るい材料のニューズがあれば、投資家の意識にじわじわと広がり、長期的な株価モメンタムを生み出すことになります。Thomson Reuters MarketPsych Indicesは、相場に明らかな影響を及ぼす市場関係者の認識や関心事、懸念を正確に描き出します。

利用シーン
- ソーシャルメディア上で、最も革新的と考えられているテクノロジー関連株はどれか、最も信頼を集めている銀行はどこかを特定
- 農産物の需給に関する観及を監視
- 通貨間の価格予測の比較
- 各国の社会不安やインフレ見通しのレベルを追跡
- 最も不確定な国債の判定
- 仮想通貨に対する市場心理の掘りを追跡
- 個別の銘柄に関する市場心理状態を監視

相場の周期から介入のタイミングを見極め、どの情報が相場を動かしているのか把握するうえで欠かせない市場心理を把握できます。
用途・活用例

・クオンツ・トレーダーや投資家：変化する市場サイクルの見極め、アルファ創出戦略の補強、リスクモデルの向上の促進に。モメンタム戦略、平均回帰戦略、ボラティリティ戦略の調整にも有効。

・グローバル・マクロ・ヘッジ・ファンド：国、市場、アセットクラスごとに市場心理から見た市場サイクルの把握に。グローバルな資産配分でさらに効果的な判断が可能。

・オンライン証券：クライアント向けの取引アイデアの創生に効果。現在のイベントや市場へのインパクトをわかりやすく表現したビジュアル資料作りに。市場に対するソーシャル・メディア上のセンチメントの動きを明確に表示可能。

・リサーチ・アナリスト：市場を動かすイベントの監視に。アセットごとの価格変動要因の特定に。

・リスク・マネージャ：各資産クラスにおける投資やクラウディングのリスク監視に。

・為替トレーダー・通貨トレーダー：投資テーマに影響を与えるようなニュースやソーシャル・メディアの流れの特定に。マクロ経済不均衡や国・通貨に対する意識を監視することにより、アービットラージの機会探索に。

・商品取引企業・エネルギー系企業：需給問題、労災事故、気象被害など、農産物やエネルギー商品に関するグローバルな情報の流れの追跡に。トレンドの発生、消滅、反転の時期の的確な見極めに。

・エコノミスト：通貨関のリスク認知の監視に。グローバルな金利予測や失業率などマクロ経済の主要テーマに関する変化の発見に。ニュースや情報の入手と同時に主要経済指標の更新に。

・報道機関・コンサルタント：調査対象企業の株価を動かしているネガの理解に。業界の獲得への対応を強化し、透明性のある市場づくりを促進するためのコミュニケーション手段として。

・仮想通貨の投資家、採掘者（マイナー）、取引所：AIと機械学習を導入して市場心理の動きを予測。下落局面におけるリスクヘッジ。人気の通貨と革新的技術を特定。

画期的なテクノロジー

MarketPsychは、行動経済学に即したクオンツ運用の分野をリードする企業です。インターネット上のニュースやソーシャルメディアのテキストを高度分析するMarketPsychのテキスト・アナリティクス・エンジンには、特許取得済みの自然言語処理ソフトウェアが搭載されていて、グローバルな情報の流れから得られる重要な指標を提供します。

市場を読み解く

MarketPsychは、精神科医・クオンツ・トレーダーで、『Inside the Investor’s Brain: the Power of Mind over Money』（邦訳『脳とトレード』）の著者でもあるリチャード・ピータースン博士により設立されました。同社は、実験科学とハイエンドのソフトウェア開発という２つの専門知識をベースに、文書の中から、市場に影響がありそうに見えない意味を見つけ出す言語解析ソフトウェアの開発に取り組んでいます。Thomson Reuters MarketPsych Indicesは、こうしたデータが持つ価値や予測可能な面に着目し、トレーダーや投資家、リスク・マネージャ＝といった方々を対象に、有効な情報をまとめています。

トムソン・ライターについて

トムソン・ライターは、企業や専門家向けのインテリジェントデータの提供で世界をリードしています。信頼性の高い、市場を動かすニュースを世界の金融関係者に配信してきた要因的な資産を有するトムソン・ライターは、最も幅広いニュース・カバリエ、市場を動かす独占コンテンツ、業界をリードする自然言語処理機能、最短の遅延で重要情報を配信する体制を整え、クオンツ戦略の支援と人間による意思決定の支援の両面で力を発揮するマシン・リダプル・ニュース・サービス分野でも世界をリードしています。
市場動向を注視し、動向から発生するイベントを把握

ヒートマップとダッシュボード
アナリスト向け機能としては、TRMIを利用し
て重要情報のサマリーをダッシュボードとヒー
トマップの形で即座に作成できます。左の図
は、2016年中の社会不安の変化を表しました
のグローバル・マップです。このようなヒートマッ
プは、従業員やサプライチェーンへの政治的・
物的リスクの監視に使用されます。例えば証券ア
ナリストの場合、どの銘柄が最高の収益予測に
なっているのか、あるいはどの辺りの投資家に
不安感が高いのかをヒートマップで即座に確認
できます。

センチメントとトレンドの潮目を見極める
メディアのセンチメントは相場を左右します。
センチメントの移動平均線のクロスオーバーを
使ってトレンドを追い、反転のタイミングを
見極める必要があります。左の図では、S&P
500に関する発言がネガティブになると、相
場は下落局面に転じています。逆に、センチメ
ントが上昇すると、それについて相場も上昇
しています。こうしたセンチメントに基づく
移動平均は、MarketPsych調査で大きな先行
予測能力を発揮します。ヒストリカル・デー
タのテストでは、TRMIの Threat Scoreはアップル
社の株価の重要な先行指標になっている一方、
Price Direction指標は原油価格の重要な先行指
標になっています。

ランクづけによる予測モデル
左のマップは、Thomson Reuters MarketPsych
Indicesを基に策定したグローバル株式投資戦
略を示しています。このモデルによると、オー
スタリアやカナダなどポジティブなセンチメン
トが広がっている国は、翌年、ブラジルやト
ルコなどセンチメントの弱い国を下回る可能性
が高いことがわかります。証券会社であれば、
TRMI上で同様のリサーチ・アプリケーション
を開発し、センチメントをベースにしたリスク
・アイデアをクライアントに提供できます。

Web サイト: thomsonreuters.co.jp/financial
お問い合わせ先
URL: tr-jp/otoiawase
電話: 03-6743-6515